

MINI MINIMINI MINES

秋田大学国際資源学部附属鉱業博物館
平成26年度第1回 鉱業博物館企画展

「レアアース資源」—先端技術を支えるビタミン—

開催期間：平成26年10月4日（土）

～11月30日（日）

開館時間：9:00～16:00

入館料：大人 100円・高校生以下 無料
(入館料のみでご見学いただけます)

鉱業博物館では、10月4日（土）から11月30日（日）までの約2か月間、「レアアース資源 —先端技術を支えるビタミン—」と題し、企画展を開催します。

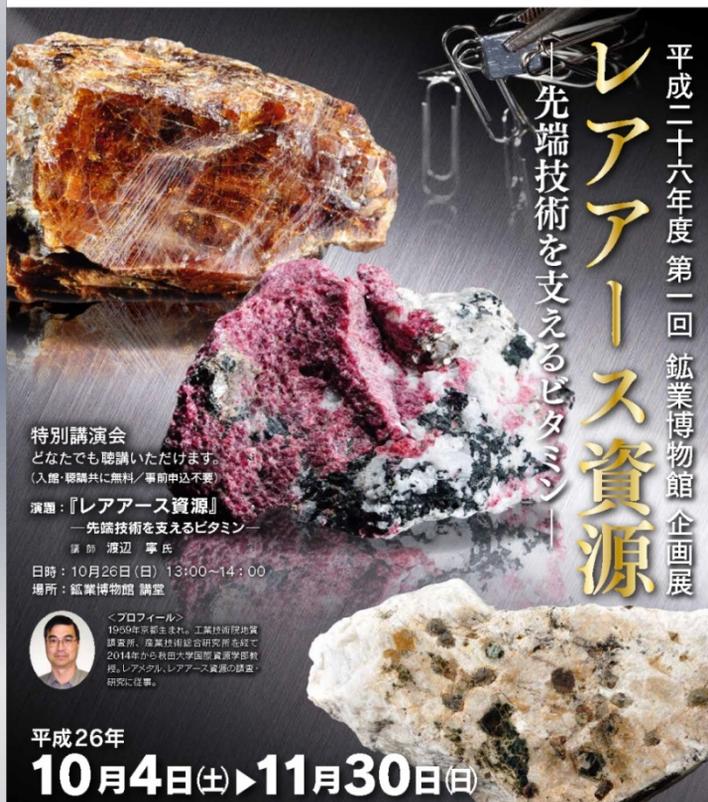
レアアースという言葉を知っていますか？聞いたことはあるけれど、詳しくは知らない方が多いのではないのでしょうか。

レアアース（希土類）はランタン系列の元素にスカンジウムとイットリウムを加えた17種類の元素の総称です。微量で物質の性質を変化させることから、レアアースは「産業のビタミン」と呼ばれています。レアアースがないと液晶ディスプレイや発光ダイオード、電池、永久磁石、スマートフォンやハイブリッド自動車など、多くの工業製品を作ることができません。私たちの生活に欠くことのできない物質ですが、地球上では存在量が少なく、産出する場所が限られているため、非常に貴重な資源となっています。

企画展では、レアアースを含む鉱石、抽出されたレアアース金属、レアアースを用いた様々な工業製品を詳しい解説を添えて展示します。また、レアアースの一種であるネオジムでできた強力磁石を用いた体験コーナーを用意しています。

ぜひ、鉱業博物館に知られざるレアアースの活躍を見にいらしてください！

国民文化祭・あきた2014
平成26年10月4日（土）～11月3日（月・祝）



レアアース資源

先端技術を支えるビタミン

平成二十六年第一回 鉱業博物館 企画展

特別講演会
どなたでも聴講いただけます。
(入館・観覧共に無料/事前申込不要)

演題：『レアアース資源』
—先端技術を支えるビタミン—
講師 渡辺 寧 氏

日時：10月26日（日）13:00～14:00
場所：鉱業博物館 講堂

＜プロフィール＞
1959年京都生まれ。工業技術院地質調査所・産業技術総合研究所を経て2014年から秋田大学国際資源学部附属鉱業博物館レアアース資源の調査・研究に従事。

平成26年
10月4日（土）▶11月30日（日）

会場 秋田大学 鉱業博物館
国際資源学部附属

〒010-8502 秋田県秋田市手形字大沢28-2 TEL 018-889-2461 FAX 018-889-2465
URL http://www.mus.akita-u.ac.jp/

●開館時間：午前9:00～午後4:00（国定休館日） ●入館料：大人100円 高校生以下無料



—特別講演会のお知らせ—

演題：「レアアース資源」

—先端技術を支えるビタミン—



講師：渡辺 寧 氏

秋田大学国際資源学部教授
産業技術総合研究所 元主任研究員

日時：平成26年10月26日（日） 13:00～14:00

場所：鉱業博物館 講堂



※どなた様でも聴講いただけます。
参加費・事前申し込みは必要ありません。

この企画展を企画した渡辺寧教授による特別講演会を開催いたします。

渡辺教授の専門は、金属鉱床学です。日本のレアメタル・レアアース資源研究の第一人者で、様々な国家プロジェクトにも参加してこられました。世界中をフィールドとして研究をしてこられた渡辺教授の講演を聴講してみませんか？この機会にぜひ、鉱業博物館までお越しください。

平成26年度第2回 鉱業博物館・阿仁伝承館連携展

「秋田古銭物語」～阿仁の鉱山が生んだ貨幣～

閉幕しました。ご来館ありがとうございました。

8月31日（日）まで北秋田市阿仁郷土文化保存伝承館で行われた「秋田古銭物語～阿仁の鉱山が生んだ貨幣～」が終了しました。期間中は、江戸時代、世界一の銅の生産量を誇った阿仁地域で生産されていた銅を用いた古銭の展示を始め、監修した今井忠夫秋田大学国際資源学部教授による展示解説や、古銭の鑑定を行うなど、様々なイベントとともに送りました展示でした。

伝承館には前年度の2倍近くの来館者を迎え、大変好評の末閉幕することができました。深く御礼申し上げます。

次回連携展予告

第3回連携展 開催決定！
平成26年11月頃開催予定
場所：阿仁郷土文化保存伝承館

請う御期待！

第2回鉱業博物館市民向け開放講座

バーチャル鉱山実習システムで鉱山内部を探検してみよう

日時：平成26年9月3日（水）15：30～16：30

講師：安達 毅 氏（秋田大学国際資源学部教授）

今年4月、鉱業博物館に導入された学習システム「バーチャル鉱山実習システム」についての講演を、監修者である国際資源学部安達教授解説のもと、市民の皆様にも初めて公開しました。

このシステムは通常入ることのできない鉱山開採の現場を疑似体験できる映像資料で、臨場感溢れる映像は、学習教材であることを忘れさせるほどです。

システムでは金属鉱山、石炭鉱山、非金属鉱山の3つの鉱山内部を見学でき、それぞれの鉱山で用いられる採鉱手法や用いられる鉱山機械の解説を、小話を交えてのわかりやすく楽しい講演でした。

現在学習することのできるコンテンツは国際資源学部の初年磁性向けのコンテンツですが、今後は高学年向けの高度なコンテンツを作成していきたいとお話がありました。

バーチャル鉱山実習システムは、常設している3Dメガネをかけて散策できる60インチディスプレイシステムの他に、予約が必要となりますが、今回の講座で公開した8mのシアターも公開しております。鉱業博物館にお越しの際は是非、入ることのできない鉱山内部を探検してみてください。



聴講する参加者の皆さん



講師を務めた安達教授



コントローラーを用いて操作しながら解説する安達教授

第3回鉱業博物館市民向け開放講座

アのプリンスエドワード島（PEI）に架かるカナダ連邦橋

日時：平成26年9月10日（水）15：30～16：30

講師：川上 洵 氏（鉱業博物館研究員、秋田大学名誉教授）

現在ドラマで話題になっている「赤毛のアン」の作者R.M. モンゴメリが生を受けた、プリンスエドワード島とカナダ本土を連絡する橋について、コンクリート学の権威である川上洵鉱業博物館研究員が講演を行いました。

この橋はノーザンバーランド海峡を横断する全長13kmに及ぶ長大なコンクリート橋です。それに加え冬期間海面が凍結するという過酷な環境に耐えなければならないという難しい条件の中、建設がすすめられました。1997年に完成し時がたった今でも、凍結する環境下にある橋としては世界最長の橋であり、カナダにおける20世紀最大の土木工事として有名な存在であると解説されました。

講演はプリンスエドワード島の話題に始まり、橋を建設するまでの経緯や工法など明石海峡大橋や日本の様々な橋の例を挙げながら分かりやすく紹介されました。プリンスエドワード島については名産などのお話も交え、今話題のテーマから楽しく建築物について学ぶことのできる講座となり、参加された約40名以上の聴講者の皆さんは興味と知識を深めた様子でした。



講師をつとめた川上先生



大勢の聴講者に来館いただきました。誠にありがとうございました。

次回市民向け開放講座のお知らせ

（入館・聴講ともに無料。事前申込は不要です）

インドネシアの最新情報

一火山活動、大学改革そして大統領選挙—

日時：平成26年10月29日（水）15：30～16：30

会場：鉱業博物館 講堂

講師：エミー・スバルカ 氏 インドネシア バンドン工科大学教授
元副学長
高島 勲 氏 秋田大学名誉教授

（英語講演：高島氏による簡易通訳あり）



ジャワ島中部で起こった噴火による被害の様子

インドネシアにありま
ずバンドン工科大学から
エミー・スバルカ教授を
お招きし、インドネシア
での火山研究の現状を解
説するとともに、活動拠
点となる大学の改革につ
いて、国内情勢を交えな
がら最近の動きを説明し
ます。